

コロナ禍において 経済を活性化させるには？

～小売店を通して～

政治・経済ゼミ

1. 課題設定の理由

2019年12月、新型コロナウイルス感染者が確認

翌年日本でも感染が拡大・・・外出自粛要請

↓↓↓

多くの店舗で売り上げ 減少

小売店のような、地域と

関わりある店が回復 ⇒ 地域経済回復？

2. 仮説

- ・コロナ対策の徹底、周知
- ・小売店がインターネットを活用
- ・買い物に使えるポイント制度(スマホ活用・小売・飲食)



**接触が減り感染リスクを
抑えつつ、消費が増加
⇒ 経済が活性化するのは？**

このことを証明するために・・・

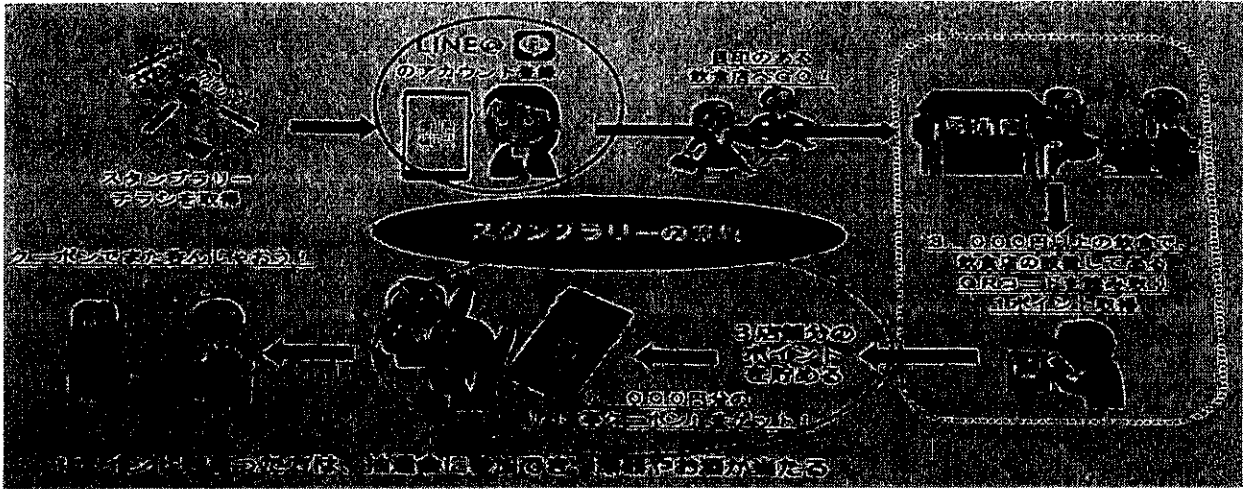
- ◎会津若松市と他地域の事例を比較する
→ **富山県の事例**
- ◎店舗を訪問し現状を取材する
→ **Soupcurry&Dining tipu(ティプ)**
に取材

3. 他地域との比較

(1) 会津若松市の事例①

※LINEを使用

○スタンプラリーでお食事券がゲットできる！

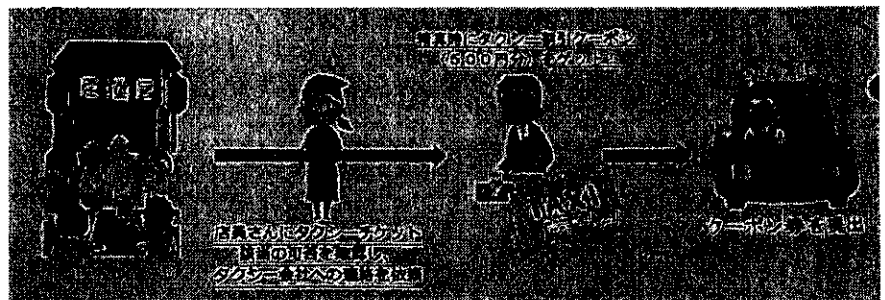


(1)②

※スタンプラリー参加店舗で実施

○タクシー割引クーポン

(期間限定2ヶ月間)



○会津清酒で乾杯キャンペーン

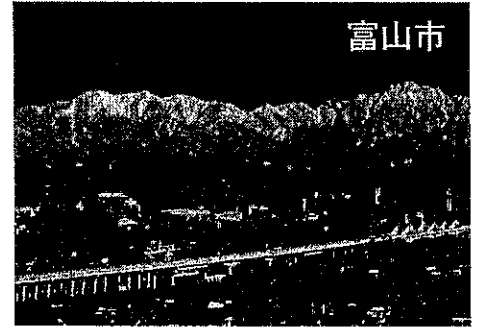
(期間限定2ヶ月間)



(2) 富山県の事例

○とやま 地産地消飲食店利用ポイント制度

- ①登録店舗で地産地消メニューを飲食
- ②デジタルポイントたまる
- ③スマホでキャンペーン参加登録
- ④賞品:デジタルクーポンや特産品(特典:デジタルクーポン)



**⇒両地域ともスマホ・デジタルを活用
さらに割引やポイント制度を実施**

(3) 結果

【会津若松市の政策の効果】

**◎どれも効果があった！
⇒ネット活用・ポイント制度
→消費喚起できる**

スタンプラリーアカウント登録者数	3,799人
参加店舗数	102店
クーポン利用数	2,498枚
抽選会(景品抽選)申込者数	のべ1,399人
タクシー割引チケット利用枚数	11,594枚
乾杯酒配布本数	2,400本

4. 実際に店舗に現状を取材(去年11月)

○Soupcurry&Dining tipu(東栄町)に質問



↳ ینگバー、自家製の燻製とスープカレーの店

- Q1.コロナ対策は？ A. 基本的なマスク、検温、消毒
- Q2.コロナの影響は？ A. 去年4月ごろから客が激減
- Q3.補償はあった？ A. 去年5月国から従業員給与補償
- Q4.これから必要なのは？ A. 非対面ビジネス
- Q5.今後どうなる？ A. IT化が進む

4-2.

Q4.非対面ビジネス・・・ネットの活用、セルフレジなど

Q5.IT化・・・キャッシュレス決済、5G、インターネット

店主さんいわく「tipuでもキャッシュレス決済を導入して

いる。波に乗っていく飲食店は生き残れる」

↓↓↓

◎コロナ対策は必要

◎求められるのはインターネット活用

5. 結論

①他地域と比較 ②店舗に現状取材
した結果・・・

**・コロナ対策・インターネット活用
・ポイント制度 を実施
⇒コロナ禍でも経済活性化できる！**

6. 参考文献

- 1) 会津若松市公式WEBサイト<<https://www.city.aizuwakamatsu.fukushima.jp/>>
(情報入手日 2021年7月2日)
- 2) 富山市公式WEBサイト<<https://www.city.toyama.toyama.jp/>>
(情報入手日 2021年9月24日)
- 3) 富山をいただきま〜す！とやま地産地消飲食店利用ポイント制度公式WEBサイト
<<https://toyama-point-cp.com>>(情報入手日 2021年9月24日)
- 4) Soupcurry&Dining tipu公式WEBサイト<<https://www.tipu.jp/>>
(情報入手日 2020年11月19日)
- 5) 『飲食店応援事業【会津若松市】』(会津若松市役所商工課 2021年9月3日)